



男性型脱毛症とお薬について

みなさんはAGAという言葉を知っていますか？最近CMなどでも話題となっていることから、ご存知の方も多いかと思えます。AGAは「Androgenetic Alopecia」の略で「男性型脱毛症」の意味です。今回はそんな男性型脱毛症についてお話したいと思います。

○男性型脱毛症とは？

成人男性によくみられる髪が薄くなる状態のことで「病気」というよりは人体の自然現象です。思春期以降に前頭や頭頂部の髪が、軟毛となり、どちらか一方、または双方から薄くなっていきます。なお、調査によると日本におけるAGA人口は1,260万人で、日本人成人男性の約3人に一人がAGAと言われています。

○男性型脱毛症の原因は？

男性型脱毛症は年齢とともに進行しますが、原因としては一般的に遺伝や男性ホルモンの影響などが考えられています。通常髪の毛のヘアサイクルは「成長期」「退行期」「休止期」の3つの段階に分けられますが、男性ホルモン（主にジヒドロテストステロン）の作用により、ヘアサイクルのうち成長期が短くなります。新しい髪が生まれ成長する「成長期」が短縮し、毛包が退縮していく「退行期」や毛包の活動が停止する「休止期」が長くなることでだんだんと生える髪の毛よりも抜ける髪の毛のほうが多くなっていくのです。また、それらの原因に付随して栄養やストレスなどの因子もかかっています。



○男性型脱毛症の症状は？

男性型脱毛症の進行の目安を示す分類にはいくつかの種類がありますが、中でもよく知られている分類法が「ハミルトン・ノーウッド分類」です。生え際から後退していく「M型」、頭頂部から薄くなる「O型」、おでこ全体が後退した「U型」など様々な脱毛の進行パターンがあります。進行度はⅠからⅧ型に分類され、数字が大きい程薄毛の程度は進んでいきます。

○男性型脱毛症の治療法は？

男性型脱毛症の治療は症状が進行するほど十分な発毛効果を得るのが難しくなります。そのため、男性型脱毛症を改善するためには早期の相談・治療の開始が有効です。男性型脱毛症の治療にはいろいろな種類があり、症状に合わせた有効な治療法が選択されます。医薬品による治療法として、重症度に応じてミノキシジルの外用やフィナステリドの内服が使用可能です。なお、男性型脱毛症の治療は健康保険の適用外であり自由診療となります。

《外用薬》

・ミノキシジル(一般用医薬品のリアップ等):毛包に直接作用して細胞の増殖^{さうしょく}やたんぱく質の合成を促します。含有量5%までのものであれば、医師による診断・処方なくともドラッグストア等で購入可能です。

《内服薬》

・フィナステリド(プロペシア錠):Ⅱ型の5 α -リダクターゼを抑制することにより、男性ホルモン的一种であるテストステロンがジヒドロテストステロンに変換されるのを防ぎます。

・デュタステリド(ザガーロカプセル):フィナステリドと同様、還元酵素^{かんげんこうそ}の5 α リダクターゼに作用しますが、フィナステリドがⅡ型のみ^に作用するのに対し、デュタステリドは「Ⅰ型」と「Ⅱ型」の双方に働きかけジヒドロテストステロンの生成を抑制します。



なお、ミノキシジルの外用やフィナステリド・デュタステリドの内服を行っても十分な改善が見られない場合は自毛植毛法(自分の毛を毛包ごと移動させる)や、整容的対処法^{せいようてきてき}としてかつらを使用することもあります。

○男性型脱毛症の予防法は？

先ほど男性型脱毛症の原因として遺伝や男性ホルモンの影響によるものとお話ししましたが、生活習慣の乱れも男性型脱毛症の発症・進行に大きく影響を与えるとされています。睡眠不足^{すいみんぷそく}や運動不足、過度なストレスなどは自律神経^{じりつしんけい}やホルモンのバランスを乱し、正常なヘアサイクルの妨げとなります。

また、過度なダイエットや偏った食事は髪を作るのに必要な栄養素が不足してしまいかねません。生活習慣の改善も心がけるようにしましょう。

～お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、医師又は薬剤師までご相談ください。～